

ジャンボタニシの **春** 対策

～浅水管理と農薬の適正使用～



稲を食害するジャンボタニシの被害を減らすためには、移植後の対策の徹底が重要です。

1 浅水管理

ジャンボタニシは水深が浅いと活動が制限され、水中でないと摂食できないため、浅水管理での食害防止が基本です。

- ① 代かきを丁寧に行い、ほ場を均平にする。
- ② 移植後は、**水深を4 cm以下の浅水管理**
※ 移植後3～4週間（水稻5葉期）まで浅水管理
- ③ 除草剤散布後、1週間程度は水深3～5 cmを維持



2 薬剤散布

以下の登録薬剤のいずれかを散布し、殺貝や食害防止を図ります。

- ① 湛水状態（水深3～5 cm）で、発生状況に応じて適切に散布
- ② 薬剤散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

【登録薬剤】

殺貝効果：スクミノン、ジャンボたにくん
スクミンベイト3（※有機JAS規格に適合）
キタジンP粒剤

食害防止効果：パダン粒剤4

※ 登録薬剤を使用し、必ず**使用時期、使用方法、使用量、使用回数**を遵守する。

不明な点は、千葉県夷隅農業事務所まで御相談ください。

TEL 0470-82-2213（改良普及課）

夷隅地域農林業振興協議会

（勝浦市 いすみ市 大多喜町 御宿町 JAいすみ 夷隅農業事務所）